

# か

～ 我が国の食料供給基地を目指して～

# かごしまの農業農村



基盤整備を契機とした

## 水田高度利用と集落営農の取り組み

【いちき串木野市 川南地区】

P1

畑地かんがいの整備と共に

## 発展する農業法人（～大隅半島 B法人の事例）

【志布志市 曾於東部地区】

P3

基盤整備と畑かんを契機とした

## 営農の近代化と農業生産性の向上

【大島郡和泊町・知名町 沖永良部地区】

P5

多面的機能支払交付金活動事例

## 地域商品券の活用で、みんなで楽しみながら環境づくり

【日置市 草田地域を守る会】

P7

令和元年5月  
鹿児島県

取組の概要

- ほ場整備の実施を契機とした話し合い活動により、集落営農組織を設立
- 農地中間管理事業と連携を図り、地域集積協力金を活用し区画整理工事の農家負担を軽減。
- 地下かんがい方式の導入により、水田の高度利用を目指す。

## 取組前

- 現況は、大正初期から昭和初期にかけて整備された10a以下の小区画
  - 道排水路の条件が悪く、大型機械での営農に支障が生じている
  - 各個別の平均経営面積が11aであり、農業従事者の高齢化が進行（65歳以上が5割超）
- ◆課題：話し合い活動に基づく持続的な営農の仕組みづくり

○位置  
鹿兒島県いちき串木野市  
(過疎、特農、特土等)



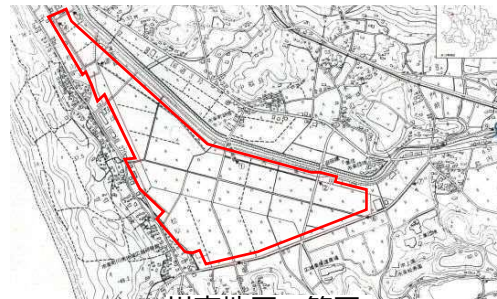
現況狭く、湛水被害が発生

## 取組内容

### 話し合いによる営農の仕組みづくり（計画策定）と農地中間管理事業と連携した基盤整備の実施

#### 【話し合いによる営農の仕組みづくり】

- 県、市の農政普及、基盤整備部門が連携し推進
- アンケートや検討会に基づき、「人・農地プラン」の取りまとめと対応策を検討



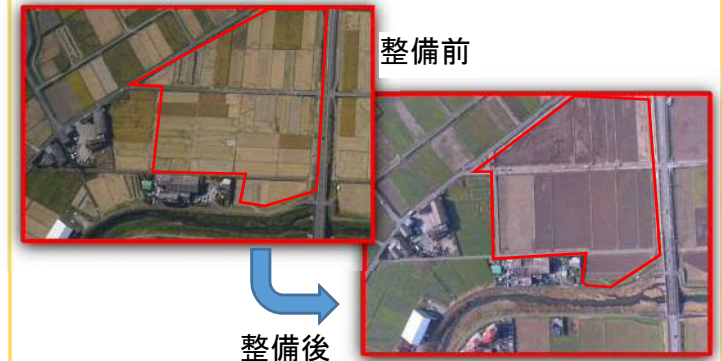
**目的共有**  
市の水田フル活用ビジョン、人・農地プラン、担い手アンケート結果や農業者の意見などの情報共有・分析

**将来目標の共有**  
※農地（基盤）整備を契機とした話し合い活動  
※関係機関・団体（県・市・JA・農業委員会・土地改良区など）の連携が重要

対応策	<b>ほ場整備推進委員会</b> ・ほ場整備（60a区画） ・水田汎用化（客土、暗渠排水、弾丸暗渠）	<b>換地委員会 農地集積組合</b> ・換地 ・農地中間管理事業 ・人・農地プラン ・農地利用調整	<b>集落営農（営農組織設立）</b> ・ビジョンの検討 ・機械共同利用・作業受託 ※営農組織「夢ファーム大里」設立 ・WCS用稲、焼酎用麴米、裏作（レタス、タマネギ等） ・担い手の育成 ・農地所有適格化法人との連携
	※地域の合意形成を図るため、関係機関による多くの協議・調整を実施		

#### 【基盤整備】

- 経営体育成基盤整備事業 川南地区（H25～R2）  
概要：区画整理（60a区画）46.9ha（農道、用排水路、暗渠排水）



- 基盤整備後の農地活用や組織づくりに向けた地域内での話し合い活動を強化



基盤整備後の農地活用検討



県外の機械利用組合視察研修

基盤整備後の農地の活用は？  
農地の集積は？

どんな組織を作ったら良いの？  
組織でどんな営農をしたら良いの？

- 基盤整備に当たっては、**農地中間管理事業と連携し集積を促進**



## 取組内容

### 農地中間管理事業

平成27年度時点の農地中間管理事業の状況



平成30年度時点の農地中間管理事業の状況



年度	地区内の農地面積	貸付面積	貸付率
H27年度	46.9ha	26.81ha	57.16%
H28年度		4.92ha	10.44%
H29年度		0.14ha	0.20%
H30年度		0.40ha	0.85%
計		32.27ha	68.81%

### 農地中間管理事業の地域集積協力を有効活用

- ・ 協力の半分（約4,300千円）は、区画整理工事の農家負担金に充当（工事にかかる負担金総額 約14,000千円の3割程度）
- ・ 残り半分の協力は、集落営農組織「夢ファーム大里」の運営費等として利用

## 取組の効果

### 水田高度利用の取り組みを開始

- 地下かんがい方式の暗渠排水整備により、水田の高度利用化を図り、多様な作物を栽培することで、経営を多様化



### 集落営農組織による米及び高収益な野菜の生産

- 集落営農組織（夢ファーム大里（うざと））を設立し、主食用米、多用途米（WC S用稲、麴用米等）の生産の他、野菜の生産法人とも連携し、レタス、たまねぎ等の栽培なども実施

### 地域の女性も活躍中！

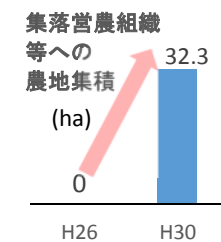
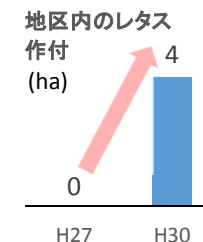
#### 女性農業経営士



地区内で経営を行っているY.Kさんは、県内第1号のイチゴ観光農園も経営。ジャム加工体験も行うなど大活躍中

- 『農業の厳しさ・楽しさ、食の安心・安全を伝えたい』と話している。
- このほか、県内外中学生の修学旅行受け入れなどのグリーンツーリズムを通じ、将来を担う子供達の人材育成や農業の理解促進に取り組んでいる。

### 高収益作物・農地集積面積の増加



# 畑地かんがいの整備と共に発展する農業法人

## ～ 大隅半島 B法人の事例 ～

【志布志市（曾於東部地区）】

取組の概要

- 通水を機に畑地かんがい用水を活用し、大幅な経営転換を行い、併せて生産規模を拡大
- 自走式散水器具を活用し、かん水作業の軽減と生産性の向上を実現

### 取組前

高い営農意欲はあるが  
特定品目に依存し、危機感

- 平成9年に就農、平成16年に法人化  
主要品目：葉たばこ、さつまいも(焼酎用)
- 喫煙による健康被害や受動喫煙問題等により、葉たばこの需要は世界的に減少傾向
- 平成17年に経営の主幹であった葉たばこを廃作し、さつまいも(焼酎用)主体に転換
- 将来の営農展開に危機感→積極的な水利用による収益性の高い作物への転換


葉たばこの廃作が  
経営転換の機会



### 取組内容

区画整理や農業用水の安定的な供給による経営規模の拡大と高収益作物の生産拡大

#### 地域（地区）の概要

- 位置  
鹿児島県志布志市
- 
- 鹿児島県
- 主要作物  
・キャベツ、さつまいも(焼酎用)、にんじん、ごぼう
- 受益地の範囲  
曾於市役所●



#### 主な支援事業

- 【第一次整備（区画整理）】  
県営特殊農地保全整備事業(S45～49)
- 【第二次整備（畑かん施設）】  
国営かんがい排水事業(S59～H18)  
県営畑地帯総合整備事業(S60～H24)



中岳ダム（国営）



宮田ファームポンド(国営)

#### 畑地かんがい営農の推進

畑地かんがい営農ビジョンに基づき、受益農家と関係機関・団体が一体となって畑地かんがい営農を推進

- ①畑地かんがい営農ビジョン策定（H20.3～）  
策定主体：曾於畑地かんがい営農推進本部
- ②実証・展示ほ場、畑かんマイスターの活用



# 取組後の効果

## 生産現場

### 自走式散水器具等で労力軽減



- 自走式散水器具(スマートレイン)等を積極的に導入し、労力を削減
- ほ場条件により散水器具(ロールカー、レインガン、さつまいも育苗用ハウススプリンクラー)を使い分け効率化を実現

### 安定した農業用水により計画的な作付けが可能、契約栽培を拡大



- 平成23年に周辺農家2戸と生産組合を設立し加工業者等との契約販売を開始
- キャベツ出荷量の7割を契約販売
- 選果調整場への冷蔵庫導入(H26)による出荷調整の実現

## 担い手

### 規模拡大に応じた雇用労力の確保



- 平成21年より海外研修生、キャベツ・にんじんの収穫時には期間雇用を活用
- 雇用(研修生含む) H9年5名→H30年9名
- ※品目の多角化による周年労働作業と周年雇用の確保

## 多様な取り組み

- 活発な話し合い活動を行い農地中間管理事業を活用し20ha以上の集積を実現
- 多面的機能支払交付金を積極的に活用
- 畑かんマイスターとして他者への波及
- マッチングフェアでの実需者への積極的アピール
- 若手農業法人者を対象とした「おおすみ農業法人経営塾」へ参加し経営戦略を作成



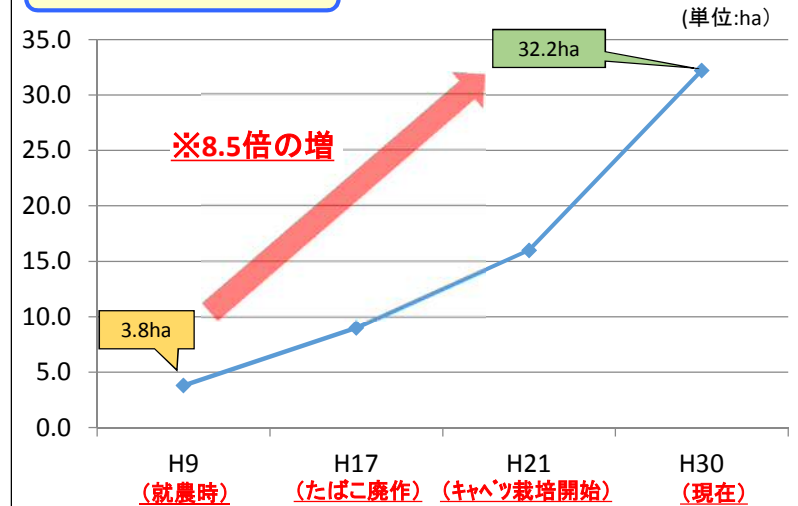
マッチングフェア



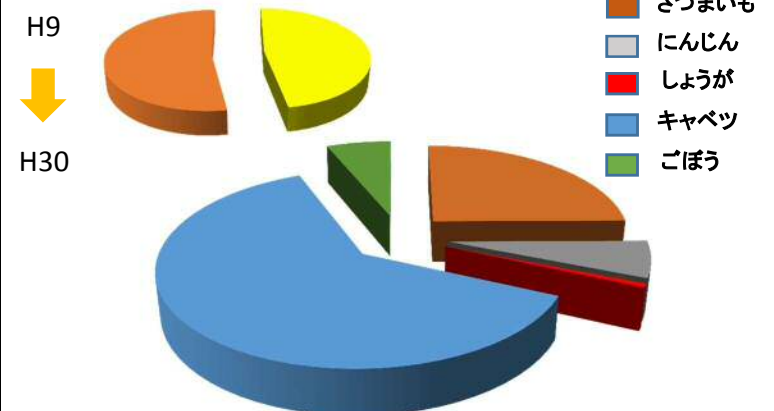
おおすみ農業法人経営塾

## 生産規模及び品目の多角化

### 経営面積の拡大



### 品目の多角化 (リスク回避)



年度	葉たばこ	さつまいも	にんじん	しょうが	キャベツ	ごぼう	計
H9	1.8	2.0	—	—	—	—	3.8
H30	—	8.0	2.0	0.2	20.0	2.0	32.2

【出典: B法人からの聞き取りによる】

取組の概要

- 区画整理と畑地かんがいにより農作業の効率化と農業所得をアップ ～高収益作物の導入推進～
- 国営地下ダムの水源確保により安定した農業経営を実現
- 農地中間管理事業を活用した農地集積・集約により担い手農家の経営規模拡大

### 取組前

#### 未整備地域の不安定な営農

- 不整形なほ場と未整備な農道のため大型機械での作業が困難で農作業効率が悪い
- 担い手農家への農地集積・集約が進まず小規模農家が多い

不整形で農作業効率の悪いほ場



- 台風常襲地帯のため風塩害等による生育被害を受けやすい
- 天候頼みの不安定な農業経営

干ばつによるさとうきびの生育被害



干ばつ期の散水車によるかん水



### 取組内容

#### 区画整理や農業用水の安定的な供給による経営規模の拡大と高収益作物の生産拡大

#### 地域の概要

- 位置  
鹿児島県大島郡  
和泊町・知名町



主要農産物  
さとうきび、ばれいしょ  
花き、畜産等



さとうきび



ばれいしょ



花き



肉用牛(生産牛)

#### 主な支援事業

##### 【国営事業】

- ・国営かんがい排水事業 沖永良部地区 (H19～R3)

##### 【県営事業】

- ・畑地帯総合整備事業(担い手育成型, 担い手支援型)  
和泊町 根折地区ほか 9地区(S57～R8)  
知名町 余多地区ほか 7地区(S56～R4)

##### 【畑かん受益地位置図】



平成27年1月から暫定通水開始

##### 地下ダム施工状況



さといもへのかん水



#### 多面的機能支払交付金による地域の保全活動



地域保全活動



景観形成活動



## 取組後の効果

### 生産現場

#### 畑かんの高度水利用技術の導入

○畑かんの高度水利用技術の導入を図るための取り組みを行っている。



マルチとかん水チューブの設置を一体化施工することにより営農の省力化を実現

#### 畑かみを契機とした地域振興活動

○畑かみの導入を契機とし地域で畑かん営農振興組織を立ち上げ、研修会や水利用ルールの遵守のための活動を行っている。



水利用研修会



栽培講習会



ローテーションロック検討会

### 担い手

#### 区画整理と農地中間管理事業による担い手への農地集積

○区画整理事業と農地中間管理事業の連携により、担い手への農地の集積が進んだ。

①農地中間管理事業による農地集積面積 (H30まで)  
(面積は各町農業委員会実績による)

地域名	和泊町	知名町	合計	備考
沖永良部	307ha	362ha	669ha	H26~

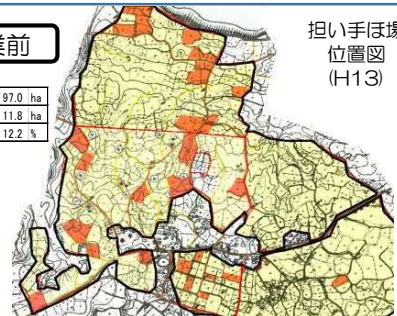
②農地集積事例 和泊町根折地区  
担い手面積の推移  
(H30面積は和泊町農業委員会実績による)

区分	対象面積	H13(事業開始時)		H30現在		備考
		面積	割合	面積	割合	
区画整理事業	97.0ha	11.8ha	12.2%	52.5ha	54.1%	H13~H22
農地中間管理事業	143.6ha	-	-	83.6ha	58.2%	H26~

※根折地域の農地中間管理事業は集落全体を対象面積としている。

#### 事業前

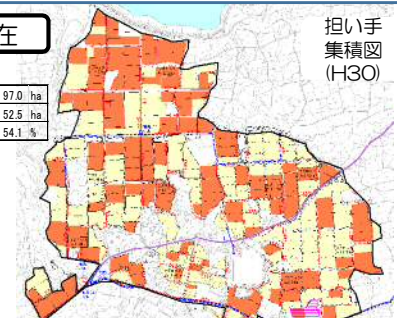
全体面積	97.0 ha
担い手面積	11.8 ha
集積率	12.2 %



担い手ほ場位置図 (H13)

#### 現在

全体面積	97.0 ha
担い手面積	52.5 ha
集積率	54.1 %



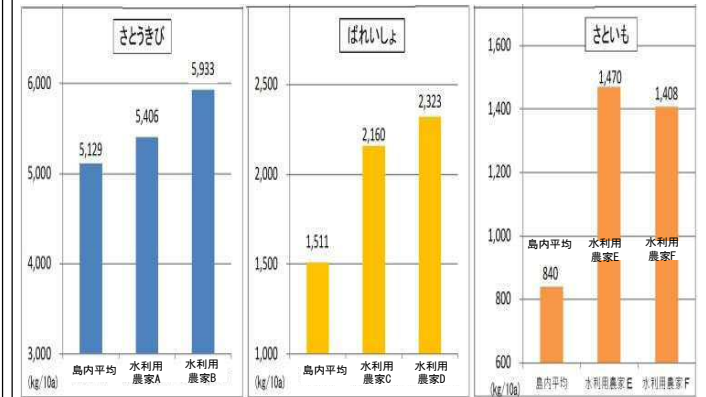
担い手集積図 (H30)

### 農業生産

#### かん水による農業生産性の向上

○畑かんを利用した営農により単収の向上が図られ、安定的な農産物の生産が可能となった。

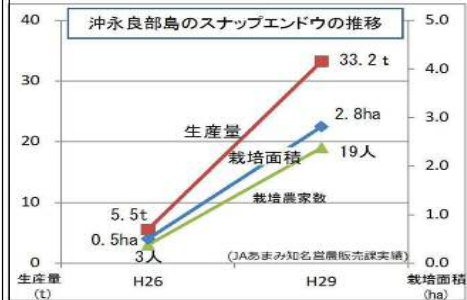
#### かん水による単収の比較(H29実績)



島内平均は「H30奄美農林水産の動向」、農家単収は各農家聞き取りによる。

#### 高収益作物の導入推進

○畑かんの導入により水利用効果が高く高収益な作物の導入が可能となった。



新規導入推進作物のスナップエンドウは現在栽培農家が19名、栽培面積は約3haと着実に拡大している。

# 多面的機能支払交付金活動事例

くさた ひおきし  
草田地域を守る会（鹿児島県日置市）

## 地域商品券の活用で、みんなで楽しみながら環境づくり

- 本地域は、太田川左岸沿いに開けた水田の広がる農村地域である。大区画ほ場整備を平成12年に終え、農地や用排水路、農道の維持管理は、農家、水利組合を中心に行っているが、年々地域の高齢化が進んでいる。
- 本地域では、農地・水・環境保全向上対策を契機に、農業者、非農業者を問わず、みんなで地域を美しく保全したい、活動に気軽に参加したいという気持ちに応えるもの、農業者以外の住民に広く参加を呼びかけやすくするものがないか等、話し合った結果、「商品券」の導入に至った。
- 商品券の導入は、口コミ等により多くの地域住民が知ることとなり、花壇づくりや空き缶・ゴミ拾いなど、楽しく活動を行うことで地域の環境向上活動への参加の促進が図られ、更には、参加者同士の交流が広がり、農業者と地域住民との距離を縮めるとともに、地域商店等の活性化にも寄与している。

### 【地区概要】

- ・取組面積 30ha（田 30ha）
- ・資源量  
開水路7.9 km、パイプライン6.9 km、農道7.3 km、ため池2カ所
- ・主な構成員  
農業者、アグリサポート吹上  
水利組合、自治会、土地改良区等
- ・交付金 約40百万円（H30見込）
- ※ふきあげ水土里広域協定（H29～）  
〔 農地維持支払  
資源向上支払（共同、長寿命化） 〕

### 地域が抱える課題

- 年々深刻になる地域の高齢化等の問題
- ・高齢化  
日置市吹上町の高齢者（65歳以上）率  
→平成30年度42%（市統計係）
- ・農業後継者がいない



### 地域住民が一体となって地域を守る取組

#### 農地・水・環境保全向上対策の取組

- 地域の話し合い活動
- 実践活動  
・施設周辺草刈り、水路泥上げ、農道補修 他

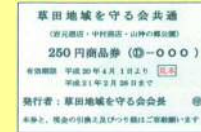
- ・施設点検や異常気象後の見回り
- ・景観保全活動  
地域ぐるみで花壇づくり、コスモスの植栽等を実施



【地域でみんなで楽しく植栽】

#### 創意工夫を活かした独自の取組

- 商品券の導入  
農村環境向上活動等※に参加すると、地元3店舗で使用できる「250円商品券」を発行



- ※発行の対象となる活動  
・花壇作りや手入れ  
・空き缶やゴミ拾い  
・施設点検 他

〔 1時間の活動につき1枚発行 〕

#### 活動参加の促進効果

- 平成19活動：271枚発行（非農業者336名）
- 平成20活動：478枚発行（非農業者388名）
- 平成25活動：413枚発行（非農業者348名）
- 平成28活動：434枚発行（非農業者355名）
- 平成29活動：1,887枚発行（非農業者4,778名）
- ※ふきあげ水土里広域協定（H29～）

#### ○にこにこサロン

地域のお年寄りを中心にコスモスを見ながらのお茶会

#### ○七夕づくり

親子会やにこにこサロンが協力し合ってみんなで七夕飾りづくり



みんなで楽しみながら地域づくり